

原子力発電所の運転および建設状況

原子力安全対策課
平成18年10月3日現在

1. 運転または建設中の発電所（設備容量 運転中：13基 計 1128.5万kW、建設中：1基 計 28.0万kW）

項目 発電所名		現状	利用率・稼働率 (%)		発電電力量 (億 kWh)	
			平成18年度	運開後累計	平成18年度	運開後累計
日本原子力発電(株)	1号機	運転中	90.7	67.6	14.2	772.2
			95.5	70.3		
敦賀発電所	2号機	定期検査中(調整運転中) (H18.4.23~未定)	55.9	82.4	28.4	1644.6
			56.4	82.6		
日本原子力研究開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ		性能試験中 (事故停止中)	(H7.12.8 中間熱交換器(C)二次系出口配管からのナトリウム漏えいに伴い、原子炉手動停止。)			
関西電力(株) 美浜発電所	1号機	運転中	99.5	52.0	14.8	555.2
			100	54.5		
	2号機	運転中	65.4	61.6	14.3	922.6
美浜発電所	3号機	事故停止(H16.8.9) 定期検査中 (H16.8.14~未定)	68.3	63.2	0.5	1509.5
			1.4	69.9		
関西電力(株) 大飯発電所	1号機	運転中	99.4	65.8	51.2	1865.7
			100	66.9		
	2号機	運転中	39.1	71.5	20.1	1976.5
	3号機	定期検査中 (H18.9.27~H19.1月上旬)	39.1	72.4	51.4	1295.3
	99.3	84.7				
4号機	運転中	98.0	84.9	52.7	1213.9	
		101.9	85.9			
関西電力(株) 高浜発電所	1号機	運転中	103.5	68.1	37.5	1572.9
			100	69.2		
	2号機	運転中	59.3	68.4	21.5	1529.4
	3号機	定期検査中 (H18.8.19~H18.12月上旬)	57.4	69.6	30.2	1398.4
	79.1	84.5				
4号機	運転中	76.5	84.4	39.4	1380.5	
		103.3	84.9			
		合計	76.0	72.8	376.9	17637.2
			76.5	71.5		

(注) 利用率・稼働率・電力量は平成18年9月末現在、累計は営業運転開始以降。また、利用率・稼働率は四捨五入、電力量は切り捨て。

2. 運転を終了した発電所

項目 発電所名		現状	稼働率 (%)	発電電力量 (億 kWh)
			運転期間 (S54.3.20~H15.3.29)	
日本原子力研究開発機構 新型転換炉ふげん発電所 (16.5万kW)		廃止措置準備中	62.2	216.1
			63.8	

(上段) 設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$ (下段) 時間稼働率 = $\frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$

3. 各発電所の特記事項（平成 18 年 9 月 5 日～10 月 3 日）

発電所名	特記事項
敦賀 2 号機	<p>○第 15 回定期検査 (H18. 4. 23 ～ 未定※)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電停止 (H18. 4. 23 0:00) ・原子炉起動 (H18. 6. 27 20:00)、臨界(6. 28 2:40) ・調整運転開始 (H18. 6. 30 14:00) ・脱気器タンク水位制御弁の不調に伴う原子炉手動停止 (H18. 7. 1 21:30) ・原子炉起動 (H18. 7. 12 14:00)、臨界(H18. 7. 12 20:44) ・調整運転再開 (H18. 7. 13 13:00) <p>※ 東海第二発電所での「可燃性ガス濃度制御系における計器設定の不適切な取扱い」を受け、原子力安全・保安院は日本原子力発電機に対し、計測器類および定期事業者検査の記録の再確認を指示している。このため、現時点で定期検査終了時期は「未定」である。</p>
ふげん	<p>○廃止措置準備中</p> <p>○第 20 回定期検査 (H18. 9. 29 ～ H19. 3 月予定)</p>
もんじゅ	<p>○ナトリウム漏えい対策等工事の本体工事 (H17. 9. 1 ～ H19. 1 月予定)</p> <p>○平成 18 年度設備点検 (H18. 4. 3 ～ H19. 3 月予定)</p>
美浜 3 号機	<p>●タービン建屋での死傷事故（2 次系復水配管の破損）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電停止 (H16. 8. 9 15:28) <p>○第 21 回定期検査 (H16. 8. 14 ～ 未定)</p> <p>設備健全性確認のための試験運転※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉起動 (H18. 9. 21 22:30)、臨界(9. 22 7:33) ・発電開始 (H18. 9. 26 14:57) ・発電停止 (H18. 10. 3 12:00) <p>※発電した状態で設備全体の健全性を確認した後、10 月 3 日にプラントを停止し、機器・設備の点検を実施する。今後の起動工程は、点検結果を踏まえて検討する。</p>
大飯 2 号機	<p>○第 20 回定期検査 (H18. 4. 24 ～ H18. 9. 7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電停止 (H18. 4. 24 5:00) ・原子炉起動 (H18. 8. 11 19:08)、臨界(8. 12 1:20) ・調整運転開始 (H18. 8. 13 16:30) ・営業運転再開 (H18. 9. 7 16:40)
大飯 3 号機	<p>○第 12 回定期検査 (H18. 9. 27 ～ H19. 1 月上旬予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電停止 (H18. 9. 27 10:00)
高浜 3 号機	<p>○第 17 回定期検査 (H18. 8. 19 ～ H18. 12 月上旬予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「B-SG 水位異常低」警報発信による原子炉自動停止 (H18. 8. 18 23:55) <p>●「B-SG 水位異常低」警報発信による原子炉自動停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 17 回定期検査のため出力降下中の 8 月 18 日、電気出力約 11%にて給水制御の切替操作を行っていたところ、主給水バイパス制御弁が開動作せず、「B-SG 水位異常低」警報が発信して原子炉が自動停止した。 ・原因は、主給水バイパス制御弁の開度調整信号を出力するパイロット弁弁棒に硫酸アンモニウムが付着して弁棒の動作を阻害したためと推定された。 ・硫酸アンモニウムの発生源は近くの E T A 処理装置と考えられ、夏期に主給水配管室の外気取入口を開放した際に室内に流入したものと考えられた。 ・対策として、主給水バイパス流量制御弁（3 台）のパイロット弁を新品に取り替えるとともに、硫酸アンモニウムの流入を防ぐため、主給水配管室の外気取入口を閉運用とする。 <p>(平成 18 年 8 月 19 日、21 日、9 月 19 日 記者発表済)</p>

4. 燃料輸送実績（平成 18 年 9 月 5 日～10 月 3 日）

<新燃料輸送>

発電所名	概 要
大飯 1 号機	・新燃料集合体 20 体を原子燃料工業(株)より受け入れ（9月 5 日）
美浜 2 号機	・新燃料集合体 16 体を原子燃料工業(株)より受け入れ（9月 8 日）
美浜 2 号機	・新燃料集合体 16 体を原子燃料工業(株)より受け入れ（9月 13 日）

<使用済燃料輸送>

なし

5. 低レベル放射性廃棄物輸送実績（平成 18 年 9 月 5 日～10 月 3 日）

発電所名	概 要
大飯発電所	青森県の日本原燃株式会社低レベル放射性廃棄物埋設センターに、充填固化体 1,496 体（専用輸送容器数 187 個）を搬出 （9月 22 日 大飯発電所出港）

(参考)

1. 記者発表実績 (平成 18 年 9 月 5 日～10 月 3 日)

年月日	番号	発表件名
H18. 09. 05	40	大飯発電所 1 号機の新燃料輸送について
H18. 09. 07	41	大飯発電所 2 号機の営業運転再開について (第 20 回定期検査)
H18. 09. 08	42	美浜発電所 2 号機の新燃料輸送について
H18. 09. 08	43	美浜発電所 3 号機の今後の運転方針について
H18. 09. 13	44	美浜発電所 2 号機の新燃料輸送について
H18. 09. 13	45	大飯発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について
H18. 09. 19	46	高浜発電所 3 号機「B-SG 水位異常低」警報発信による原子炉自動停止について (原因と対策)
H18. 09. 20	47	美浜発電所 3 号機の試験運転と点検の実施について (第 21 回定期検査)
H18. 09. 25	48	大飯発電所 3 号機の第 12 回定期検査開始について
H18. 09. 27	49	新型転換炉ふげん発電所の第 20 回定期検査開始について

2. 主な出来事 (平成 18 年 9 月 5 日～10 月 3 日)

年月日	概要
H18. 09. 07	・総合資源エネルギー調査会 原子力安全・保安部会 検査の在り方に関する検討会において、検査制度の改善に関する報告書を取りまとめ
H18. 09. 08	・関西電力株式会社は美浜発電所 3 号機の今後の運転方針を県および美浜町に提出 ・原子力防災セミナー (福井市)
H18. 09. 11	・平成 18 年度 敦賀「原子力」夏の大学を開催 (敦賀市、～15 日)
H18. 09. 19	・原子力安全委員会は発電用原子炉施設の耐震設計審査指針を改訂
H18. 09. 20	・原子力安全・保安院は事業者に対し、稼働中、建設中の発電用原子炉施設、新型転換炉ふげん発電所等について、新指針に照らした耐震安全性の評価を実施し、その結果を報告するよう指示
H18. 09. 29	・県内 3 事業者は、原子力事業者防災業務計画を修正し、国に届出